

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号：★D-23-2-1 事業名：鳥の海湾環境改善対策事業		
事業費：総額 28,980 千円 国費 23,184 千円 (内訳：委託費 28,980 千円)		
事業期間：平成 24 年度～平成 25 年度		
事業目的：町内の水産業及び観光の拠点であった荒浜地区内に位置する「鳥の海」は時代の流れと共に水環境の低下が危惧され、その上震災による大きな攪乱を受けている。本来の水質環境の改善を目的に、周辺環境の変化や現状の水環境の状況を把握し、改善方策等について関係機関で構成された協議会において検討を行う。		
事業地区：荒浜地区		
事業結果 平成 24 年度（検討会開催 1 回） ・「鳥の海」第 1 回復興検討会・・・鳥の海湾環境改善対策事業と計画 平成 25 年度（検討会開催 3 回） ・「鳥の海」第 2 回復興検討会・・・鳥の海の汽水環境の問題点とその原因 ・「鳥の海」第 3 回復興検討会・・・水環境調査結果からみる水産資源生産力改善対策 ・「鳥の海」第 4 回復興検討会・・・鳥の海の環境改善対策に伴う漁場整備方針 ※鳥の海湾内の淡水、海水について流入量調査、成分調査実施		
事業の実績に関する評価		
① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ○海水の流入量、成分調査等を実施し問題点等の洗い出しを行い、その改善対策などについては、鳥の海湾内における水産資源の生産力改善に向けた検討に活用することができた。  ⇒ 上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。		
② コストに関する調査・分析・評価 ○巨理町財務規則等に基づき、適正に指名競争入札を実施しており、事業費積算においては、土木工事標準積算基準及び適切な算定根拠に基づき算定している。  ⇒ 上記を踏まえ、本事業に要したコストは妥当と判断する。		
③ 事業手法に関する調査・分析・評価		
	想定事業期間	実際の事業期間
調査・計画	平成 24 年 12 月～平成 26 年 3 月	平成 25 年 1 月～平成 26 年 3 月
○想定期間内に事業完了することができた。  ⇒ 検討会の議論を踏まえ業務を進めたことで、効率的な事業推進を図ることができた。そのため事業手法として妥当であったと判断する。		
事業担当部局 巨理町農林水産課水産班 電話番号：0223-34-0503		